

北海道大学学生寮 入寮願出関係書類セット

— 令和5年（2023年）度版 —

北海道大学学務部学生支援課

○入寮願い出に係る手続きについて

提出書類等について

北海道大学（以下「本学」という。）学生寮に入寮を希望する者は、準備した角形 2 号封筒（封筒貼り付け紙を貼り付けたもの）に必要書類を入れて、所定の受付期間内に、本学学務部学生支援課生活支援担当に提出してください。

本学所定の様式（下記(1)必ず提出する書類①～③・⑤・⑥、様式1～様式8）以外については「住民票（場合により戸籍謄本）」及び「所得（課税）証明書」を除き、写し（コピー）で構いません。

(1) 必ず提出する書類

- ①提出書類確認票
- ②基本事項記入シート
- ③北海道大学学生寮入寮願・希望調書（別紙様式 1 号）
- ④同一生計の家族の収入に関する書類（※A・Bの該当するいずれかを提出）
 - A. 令和 4 年(2022 年)分源泉徴収票の写し【給与所得者の場合】
 - B. 令和 4 年(2022 年)分確定申告書の写し【給与所得者以外(事業所得等)の場合】
(確定申告書は、「第一表 (A表又はB表)」と「第二表」を必ず提出すること。)※給与所得者についても、確定申告をしている場合は「確定申告書」を提出すること。
※母（父）が父（母）の扶養になっていない場合は、母（父）の所得の証明書も提出すること。
※源泉徴収票の写し・確定申告書の写しは、令和 4 年(2022 年)分以外のものは不可とする。
※市町村等発行の「所得（課税）証明書」は不可とする。
- ⑤宛名票
- ⑥封入書類最終チェック票
- ⑦「入寮選考結果通知」送付用封筒（準備した角形 2 号封筒に、封筒貼り付け紙を両面に貼る）
※400円分の切手を貼付すること。

※同一生計の家族で所得のある者又は令和 5 年（2023 年）度に就職等のため所得が見込まれる者については所得に関する書類が必要です。詳細は「関係書類等一覧表（P. 10～12）」をご覧ください。

(2) 家庭状況により提出する書類

「関係書類等一覧表（P. 10～12）」を確認のうえ、該当する書類を提出してください。

提出書類の記入について

提出書類の記入にあたっては、以下の記入要領を参照し、記入漏れがないように注意してください。記入ミスや記入漏れがあった場合は、選考から除外します。

なお、提出書類は、原則として令和 5 年（2023 年）4 月 1 日現在における状況を記入してください。

ただし、現住所及び電話番号欄は、願い出時現在で構いません。

また、記入にあたっては、必ず黒のペン又はボールペンを使用してください。

記入内容の訂正は、間違った文字等を二重線で消し、上に正しい文字を記載してください。上にかけない場合は、修正した内容がはっきりと分かるようにしてください。

金額は、すべて千円単位で記入してください。千円未満の金額は切り捨ててください。

提出書類確認票

「男子用」と「女子用」の様式があるので、該当する様式に記入すること。

基本事項記入シート

記入上の注意事項及び「コード番号一覧 (P.13)」を参照し、必要事項を漏れなく正確に記入すること。

北海道大学学生寮入寮願・希望調書

本調書は、入寮選考において重要な資料となりますので、以下の記入要領を参照し、必要事項を漏れなく正確に記入してください。記入漏れがある場合や、記入された文字が判断しにくい場合等、本調書に不備がある場合は選考から除外します。

なお、故意に事実と反して本調書を記入した場合は、入寮後においても入寮の許可を取り消すことがあります。

【入寮を願い出る者及び保証人署名】欄

- ア. 入寮を願い出る者（本人）と保証人がそれぞれ自署すること。
- イ. 保証人は、親権者又は学資支給人とする。
- ウ. 後日、記入内容等について確認を行うことがあるので、保証人の電話番号は必ず連絡の取れる番号を記入すること。
- エ. 男・女どちらか該当する方を○で囲んでください。

【希望区分】欄

- ア. 学部男子・大学院男子・・・太枠内に「1」と記入すること。
 - イ. 学部女子・・・太枠内に「1、2、4、5」から1つ選択して記入すること。
 - ウ. 大学院女子・・・太枠内に「2、3、6、7」から1つ選択して記入すること。
- ※「8」は、函館キャンパスのため選択不可。

【通学区分】欄

本学入学後の通学区分について該当するものを○で囲むこと。

【所属・学年】欄

- ア. 学部志願者・・・志願する学部、学科等の名称及び学年を記入すること。なお、総合入試を志願する場合は、学部の欄に「総合入試」、学科等の欄に「文系」又は「理系」と記入し、学年は「1」と記入すること。
- イ. 大学院志願者・・・志願する学院（研究科）等、専攻、課程の名称を記入し、学年は「1」と記入すること。
- ウ. 学部在学者・・・令和5年（2023年）4月1日現在の所属学部、学科の名称及び学年を記入すること。令和5年（2023年）4月1日現在で2年次に進級する者で、移行先が決まっていない場合は、「未定」と記入すること。
- エ. 大学院在学者・・・令和5年（2023年）4月1日現在の所属学院（研究科）等、専攻、課程の名称及び学年を記入すること。
- オ. ※印の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

【学生番号】欄

在学者のみ記入すること。

【受験番号】欄

志願者（学部・大学院とも）のみ記入すること。学部志願者で、前期日程・後期日程を併願する者は、それぞれの受験番号を記入すること。

なお、提出時までには受験票が手元に届いていない場合には、「未定」と記入すること。

【現住所・電話番号】欄

願い出時点の住所及び電話番号で、願い出る者（本人）に確実に連絡できるものを記入すること。

【入寮希望理由等】欄

ア. 入寮希望の理由を具体的に記入すること。

イ. 家庭事情等で特記すべき事項（例：家計支持者が無職に近い状態、経常的に収入が無い場合、独立生計、養育費の有無、被災等）がある場合は、併せて記入すること。

ウ. 自宅での勉強が困難な場合（例：著しい騒音、専有面積が3畳以下等）は、その状況を記入すること。

エ. 最短修業年限を超えている者は、最短修業年限超過の理由を具体的に記入すること。

【同一生計の家族（就学者を除く）及び所得】欄

同一生計の家族とは、同居・別居を問わず願い出る者と生計を一にする者全員のことをいいます。働いている兄弟であっても、同一の住居に居住している家族は、原則として同一生計の家族とします。同一の住居に居住していない場合でも、願い出る者の父母が仕送りをしているなど、主として扶養している者がいる場合は、その者を同一生計の家族とみなします。また、扶養控除を受けている扶養親族（「源泉徴収票」の「控除対象配偶者」欄に「有」となっている者及び「扶養親族の数」欄に記載されている者、「確定申告書」第二表の「配偶者（特別）控除・扶養控除」欄に記載されている者）については、必ず記入してください。就学者以外の家族に何らかの収入がある場合は、その種類に応じた証明書類を添付してください。

ア. 父母は必ず記入し、「就学者を除く家族」欄は同居・別居を問わず願い出る者と生計を一にする者全員（就学者を除く。）を記入すること。なお、就学者は「就学者」欄に記入すること。

イ. 「続柄」欄について、続柄を記入し、家計支持者の続柄の左に○印、願い出る時に別居している者の続柄の左に×印を付けること。

ウ. 大学院志願者又は大学院在学者で、独立生計として申請を希望する者も、父母の氏名、年齢、職業を記入し、各々の職業等に応じた所得を証明する書類等を添付すること。

※父母から独立して生活せざるを得ない特殊な事情の有無は本学において認定します。

エ. 「続柄」欄について、願い出る者が結婚している場合は、配偶者を「夫」又は「妻」と記入すること。

オ. 別居独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一にしない別居の祖父母は記入しないこと。

カ. 願い出る時には同居しているが、令和5年（2023年）4月1日現在で就職等（就学は除く。）により別居独立生計が予定されている家族については、続柄の左に×印を付け、予定されている状況を「入寮希望理由等」欄に記入すること。

キ. 願い出る時点で死亡している者については記入しないこと。

ク. 「年齢」欄は、令和5年（2023年）4月1日現在で記入すること。

ケ. 「職業」欄は、国家公務員、会社員、小学校教諭、食料品小売業など具体的に記入すること。専業主婦、家事手伝い、無職等の場合も必ずその旨を記入すること。

コ. 父又は母が死別、離別している場合等については、「職業」欄にその旨を記入すること。また、「特別控除」欄の「母子・父子世帯」に○を付け、その年月と理由（死別・離別等）を記入すること。

【所得】

- ア. 「給与所得の収入金額（税込）」には、給料・賞与・遺族の扶助手・年金・恩給・専従者給与、生活保護法による扶助手、失業給付金、児童手当等を含む。
- イ. 「所得」欄には、該当する種類別に、原則として令和4年(2022年)分(1月～12月)の収入額(給与所得・給与以外の所得)を記入すること。
- ウ. ただし、前年途中で就職・転職(開業・転業等を含む。)をした場合は、現勤務先における年収が源泉徴収票及び確定申告書からは確認できないため、願出時現在の月収、賞与などを考慮して推定年収を記入し、「年収見込申立書(様式2-1)」を併せて提出すること。
- エ. 新たに就職が予定されている場合は、「年収見込申立書(様式2-1)」の該当欄に記入のうえ、就職予定先の証明を受けた「年収見込証明書(様式2-2)」又は給与等の額が記載された求人票等を添付すること。
- オ. 児童手当(小学校・中学校の就学者がいる家族)、児童扶養手当(母子家庭等)等については、願出する時において支給対象者がいる場合、令和5年(2023年)度分(2023年4月～2024年3月)の支給予定額(年額)を記入すること。
- カ. 日本学術振興会特別研究員は「職業」欄にその旨を記入し、年度内に受給予定の研究奨励金の総額を「給与・役員報酬」欄に記入する。なお、金額については非課税分を含む金額を記入する。また、令和4年(2022年)度採用者で源泉徴収票がまだ発行されていない場合には、採用通知等の写しを併せて提出すること。
- キ. 前年に収入のあった者が失業している場合は、失業給付金等の金額を記入すること(雇用保険受給資格者証に記載の日額と給付日数から算出)。併せて「年収見込申立書(様式2-1)」の該当欄に記入のうえ、雇用保険受給資格者証の写しを添付すること。
- ク. 同居又は願出する者と生計を一にする祖父母がいる場合は、年金や恩給の受給状況を確認すること。受給している場合は「年金・恩給所得内訳書(様式3)」に必要事項を記入し、年金・恩給の源泉徴収票又は年金改定通知書の写し等を添付すること。年金については非課税の年金(障害年金、遺族年金等)についても対象となるので、必ず記入すること。
- ケ. 遺族の扶助手・年金・恩給・生活保護法による扶助手・失業給付金についても、支払い先発行の証明書(支払金額記載のもの)等を添付すること。
- コ. 本人のアルバイトについては、本人の「アルバイト」欄に前年実績について記入し、源泉徴収票又は確定申告書を添付すること。これらの書類がない場合には直近3か月分程度の給与明細書を添付すること。ただし、令和5年(2023年)4月1日現在でアルバイト先を退職する予定がある場合は記入しないこと。
- サ. 家計支持者が配偶者特別控除を受けている場合は、配偶者の給与の源泉徴収票の写しを必ず添付すること。
- シ. 金額は、千円単位で記入すること(千円未満切捨)。
- ス. 「関係書類等一覧表(P.10～12)」を確認のうえ、所得に応じて該当する必要書類を提出すること。

★ 所得の記入方法について

① 「給与所得の収入金額（税込）」欄の記入について

- 源泉徴収票の「支払金額」欄の金額を千円単位(千円未満切捨)で記入すること。
- 複数の給与所得(年金、児童手当、児童扶養手当、生活保護費、アルバイト等)がある場合は、北海道大学学生寮入寮願・希望調書の該当する欄にそれぞれの金額を記入し、合計欄に合計金額を記入すること。

1) 所得が給与収入のみの場合

給与所得者の源泉徴収票の「支払金額」を千円単位で記入すること。

※給与収入が、6,202,440円である場合、北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与所得の収入金額(税込)」の「給与・役員報酬」欄に6,202千円、「給与所得の収入(税込)合計」欄にも同じ金額を記入すること。

令和4年分 給与所得の源泉徴収票													
支払 を受け る者	住所又は居所 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目	氏名		(受給者番号)		(フリガナ)		(役職名)					
		北大 太郎				ホクダイ タロウ							
種別	支払金額			給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額			
給与	千円	円		千円	円		千円	円	千円	円	千円	円	
	6	202	440	4	420	000	1	103	701		235	700	
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	扶養親族の数(配偶者を除く)			障害者の数(本人を除く)			社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額		
有無従有従無	千円	人	人	人	人	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		2					673,701	50,000	0	0			
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額							円 国民年金保険料等の金額			配偶者の合計所得		千円	円
										個人年金保険料の金額		千円	円
										旧長期損害保険料の金額		千円	円
未 成 年 者	乙 欄	本人が障害者 特別 その他	寡 一 般	寡 特 別	寡 夫	勤 労 学 生	死 亡 退 職	災 害 者	外 国 人	中途就・退職 就職退職年月日		受給者生年月日	
支 払 者	住所(居所) 又は所在地	前年途中で就職・転職した場合には、現勤務先での1年間分の所得が確認できませんので、年収見込申立書(様式2-1)を使用して1年間分の所得を計算してください。											
氏名又は 名称													
整理欄	①	②											

2) 給与収入と年金収入がある場合

給与収入と年金収入がある場合には、北海道大学学生寮入寮願・希望調書の該当欄に金額を記入すること。

※給与収入 6,202,440円、年金収入 1,200,800円の場合、北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与・役員報酬」欄に「6,202」千円、「年金・恩給」欄に「1,200」千円と記入し、「給与所得の収入(税込)合計」欄に「7,402」千円と記入すること。

②「給与以外の所得金額」欄の記入について

○事業所得のみの場合

確定申告書「第一表」及び「第二表」を用意し、確定申告書の「所得金額」欄にある合計金額を記入すること。

○給与所得と事業所得による複数の所得がある場合

確定申告書の「収入金額等」欄に記載された該当する収入額(給与・年金等)を北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与所得の収入金額(税込)」の該当欄に記入すること。さらに、事業所得分について「所得金額」欄の該当する事業所得額を、北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与以外の所得金額」の該当欄に記入すること。

- 3) 確定申告書において、公的年金と営業所得(商業)、不動産所得(地代)がある場合
公的年金は「収入金額等」欄に記載されている金額を北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与所得の収入金額(税込)」欄に、営業所得、不動産所得は「所得金額」欄に記載されている金額を北海道大学学生寮入寮願・希望調書の「給与以外の所得金額」欄に記入すること。

令和 04 年分の 所得 税 入 び の 申告書 FA2202

納税地 札幌市北区北17条西8丁目

フリガナ ホクタ イ タロウ

氏名 北大 太郎

生年 3 3

収入金額等 (単位は円)

給与		
公的年金等	1230000	
雑収入		
配当		
給付		
雑収入		
その他		
総合課税		
短期		
長期		
一時		

所得金額等 (単位は円)

営業所得	3240000	
雑収入		
不動産	1000000	
利子		
配当		
給付		
公的年金等		
雑収入		
その他		
①から⑩までの計		

税 金 の 計 算

課税される所得金額 (第1号) 又は第2号	000
上の号に対する控除 又は第2号の第	
配当控除	
雑所得	
住宅ローン控除	
住宅ローン特例	
災害減免額	
再掲所得控除 (第1号)	
復興特別所得控除	
控除後の所得金額	
課税所得	
第1号の税 (第1号)	
第3号の税 (第1号)	
修正申告	
修正申告後の第3号の税額 (課税の場合にのみ記入)	
第3号の税額の増減額	
公的年金等以外の 合計所得金額	

第一表 (令和四年分以降用)

④・⑤・⑥・⑦又は⑧の記入をお忘れなく。

【就学者(本人以外)】欄

「就学者」とは、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学(大学院、専攻科、別科を含む。研究生、聴講生、科目等履修生は除く。放送大学については、全科履修生に限る。)、特別支援学校(盲学校、聾学校、養護学校)、専修学校(高等課程・専門課程)に在学する者です。

- ア. 令和5年(2023年)4月1日時点で就学している者(就学予定の者を含む)を記入すること。
- イ. 兄弟姉妹の「年齢」「在学学校名」「学年」及び「通学区分」の各欄は、令和5年(2023年)4月1日現在で記入すること。なお、進学予定者で願い出時に進学先が決定していない場合は、志願先の学校名(志願先が複数の場合は、第一志望の学校名)を記入すること。
- ウ. 国・公・私立の設置区分は、該当するものを○で囲むこと。

- エ. 在学学校名は正確に記入し、大学生の場合には課程（学部・修士・博士等）についても記入すること。
- オ. 「学校区分」欄及び「通学区分」欄は、該当するものを○で囲むこと。
- カ. 予備校、各種学校、高等技術専門学校（旧職業訓練校）、航空大学校、防衛大学校等に在学する者は、本欄ではなく、「就学者を除く家族」欄に記入すること。
- キ. 昼間に会社等で勤務し、夜間に学校へ通学している者は、「就学者を除く家族」欄と「就学者」欄の両方に記入し、職業欄に職業名と併せて「就学者」と記入すること。
- ク. 専修学校（高等課程・専門課程）に在学する場合は、「在学学校名」欄に学校名と所在地（市区町村まで）を記入すること。
- ケ. ※印の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

【家族数】欄

- ア. 本人を含む同一生計の家族の人数を記入すること。
- イ. 源泉徴収票もしくは確定申告書の「扶養親族の数」と北海道大学学生寮入寮願・希望調書の家族数が一致しない場合は、その理由を「入寮希望理由等」欄に記入すること。

【奨学金】欄

原則として、本人が令和4年（2022年）度に奨学生として受給した返還義務のない給付型奨学金の年額を記入すること（独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金等、貸与型奨学金で返還の義務が生じるものは除く。）

ただし、令和4年（2022年）度に奨学金を受給していたが、令和5年（2023年）度に奨学金の受給がない場合は、記入の必要はありません。

また、令和4年（2022年）度は奨学金を受給していなかったが、令和5年（2023年）度から奨学金を受給予定の場合は、令和5年（2023年）度受給予定の奨学金の年額を記入すること。

- ※ 上記に該当する場合は「令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知」（日本学生支援機構の場合）等の写しを提出すること。

【特別控除】欄

該当する項目がある場合は必ず○を付け、必要事項を記入すること。また、「関係書類等一覧表（P.10～12）」を確認のうえ、該当する証明書類等を添付すること。証明書類等がない場合には控除を受けられないので、注意すること。

(1) 「母子・父子世帯」の控除

母子・父子世帯で生別の場合は、養育費の有無について入寮希望理由等欄に記載し、「有」の場合はその金額を「給与以外の所得」欄に記入すること。

(2) 「障害者がいる世帯」の控除

障害者の控除の対象は、次の a～e のいずれかとする。該当する場合は、その人数を記入すること。

- a. 身体障害者福祉法の規定により交付を受けた身体障害者手帳に「身体障害がある人」として記載されている者又はこれに準ずる者
- b. 公害疾病の認定を受け、身体上の障害のある者
- c. 原子爆弾による被爆者
- d. 心身喪失の状況にある者、知的障害者
- e. 常に就床を要し、自分で排泄できない程度以上の者で複雑な介護を必要とする者

※障害者の更生医療費で(3)「長期療養者（6か月以上）がいる世帯」の控除の a～e に該当する支出については、「長期療養者」の控除も受けることができますので、該当する場合は「障害者がいる世帯」の「医療費」欄に必要事項を記入してください。

(3) 「長期療養者（6か月以上）がいる世帯」の控除

長期療養者の控除の対象は、願い出時において6か月以上にわたる期間療養中の者、又は療養が必要と認められる者とする。控除額は、願い出時までの直近の6か月から1年までの間に支出した金額とする。

控除の対象とする費目は、a～e のいずれかのうち、健康保険の対象となる場合のみとする。ただし、高額療養費制度により、健康保険組合等から医療費の給付（還付）を受けた場合や損害賠償等により補てんされた場合は、上記の支出額から給付額や補てん額を控除した金額が控除の対象となる。

- a. 医師、歯科医師に対して支払った診療代・治療費
- b. 入院費（保険内診療分のみ対象。保険外診療の特別室料・診断書料等・食費については対象外）
- c. あんま師、はり・きゅう師、柔道整復師等に支払った費用
- d. 看護人に対して支払った費用
- e. 治療又は療養のため支出した医薬品代

(4) 「家計支持者別居世帯」の控除

家計支持者が別居のため特別に支出している住居費・水道光熱費（家賃・電気・ガス・水道・燃料費）の実費に限る。控除額は、願い出時から遡って1年以内に支出した金額とする。

※別居している家計支持者の所得は、世帯へ送金される金額を計上するのではなく、所得金額をすべてその世帯の収入として計上し、別居のため特別に支出している金額のみを、あらためてここで控除します。なお、別居している家族への送金、通信費、交通費等は控除の対象とはなりません。

(5) 「1年以内に被災した世帯」の控除

願い出時点から遡って1年以内に火災、風水害、盗難等の被害を受けたために支出が増大もしくは収入が減少し、将来長期（2年以上）にわたり著しく困窮状態におかれると認められる場合に限る。控除額は、原則として次の a、b のとおりとするが、保険・損害賠償等により補てんされた場合は、控除額から除く。該当する場合は、被害額を記入し、入寮希望理由等欄に被害の内容等を記入すること。

- a. 日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合は、最低限度の衣料、家具の購入費・修理費等
- b. 生活手段（田・畑・店舗等）に被害を受けた場合は、長期にわたって収入減を予想される年間金額

※単に被害額や復旧費をそのまま控除するのではないことに注意してください。

【長期療養者・障害者】欄

長期療養者（願い出時において6か月以上の期間療養中又は療養が必要と認められる者）及び障害者については、「特別控除」欄に必要事項を記入するとともに、該当者に関する事項を本欄に記入する。

宛名票

すべての欄に送付先等の必要事項を漏れなく正確に記入すること。

※提出後、送付先住所に変更がある場合は、次頁「問合せ先」まで書面で連絡すること。

「入寮選考結果通知」送付用封筒

送付先等の必要事項を漏れなく正確に記入し、所定の位置に400円分の切手を貼付すること。なお、※欄には何も記入しないこと。

提出後、送付先住所に変更がある場合は、下記「問合せ先」まで書面で連絡すること。

提出にあたって

角形2号封筒（封筒貼り付け紙と切手を貼り付けたもの）に、提出書類をすべて封入し、郵送により提出すること。本学の入学試験前日及び当日に直接持参しても受理できないので、注意すること。

本学在学者で、担当窓口へ直接提出する場合においても、必ず角形2号封筒（封筒貼り付け紙を貼り付けたもの）に提出書類を入れて提出すること。

※ 感染症等感染拡大防止のため、大学構内に立ち入ることが出来ない場合があります。

問合せ先

北海道大学学務部学生支援課（生活支援担当）

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

TEL 011-706-7532(直通) / FAX 011-737-5173

[高等教育推進機構1階 ①C 「学生寮」担当窓口]

個人情報の取扱い

- (1) 本学では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報保護規程」に基づき保護に万全を期しています。
- (2) 願出に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、入寮選考及びこれらに付随する業務に利用します。
- (3) 入寮許可者のみ、(2)の個人情報（収入等に関する情報を除く）を入寮に必要な手続き及び連絡に利用します。
- (4) 上記(3)の情報については、「基本事項記入シート」の「恵迪寮入寮希望者（学部学生で第1希望、第2希望を問わず）の方へ」で恵迪寮自治会への情報提供を「同意する」にチェックした方については、①学生区分、⑨願出者氏名（フリガナ）、⑩願出者氏名（漢字）、⑫郵便番号、⑬住所、⑭電話番号を恵迪寮自治会へ提供します。

関係書類等一覧表

※関係書類のうち本学所定の様式以外については、「住民票（場合により戸籍謄本）」及び「所得課税）証明書」を除き、写し（コピー）で構いません。

区 分	証明書・関係書類等	発行場所等
<p>• 1年以内に就職、転職した者</p> <p>① 年度の途中（令和5年（2023年）1月～3月）で、就職、転職した者がいる場合</p> <p>② 令和5年（2023年）4月以降に就職する者がいる場合</p> <p>③ 前年の途中又は本年願い出時までに開業・転業した場合、又は開業・転業を予定している場合</p> <p>※ 同一生計の兄弟で所得がある者又は令和5年（2023年）度に所得が見込まれる者については所得に関する書類が必要</p>	<p>①・②・③とも「年収見込申立書（様式2-1）」に以下の書類を添付</p> <p>※①の場合は「年収見込証明書（様式2-2）」もしくは「直近の3か月～1年分の給与明細書」を添付</p> <p>※②の場合でまだ給与が支払われていない等年収見込証明書（様式2-2）の提出が困難な場合は、「採用条件（月収・賞与の有無等）が記載された書類」（求人票等）を添付</p> <p>※①については、場合により令和4年（2022年）分の源泉徴収票を求めることがある。</p>	<p>• 勤務先</p>
<p>• 年金・恩給受給者</p> <p>※ 同一生計の家族に祖父母がいる場合は必ず確認すること。</p>	<p>「年金・恩給所得内訳書（様式3）」に、年金の「源泉徴収票」、「年金額決定通知」、「支払窓口（日本年金機構等）発行のハガキ」のいずれかの最新のものを添付（年金額が確認できる書類）</p> <p>※ 非課税の年金（障害年金、遺族年金等）についても対象となるので、必ず北海道大学学生寮入寮願・希望調書に記入のうえ、上記書類を添付すること。</p>	<p>• 日本年金機構</p> <p>• 都道府県保険課</p> <p>• 市区町村等</p>
<p>• 無職、無収入の者</p> <p>就学者を除く18歳以上の者が無職又は無収入の場合</p>	<p>「無職・無収入申立書（様式5）」</p> <p>※ 専業主婦については、家計支持者の扶養に入っていない場合は提出が必要</p> <p>※ 無職であっても、年金等の一定の所得がある場合は不要</p>	<p>• 該当者の申し立て</p>
<p>• 失業している者</p>	<p>「年収見込申立書（様式2-1）」、「雇用保険受給資格者証」</p> <p>※ 場合により令和4年（2022年）分源泉徴収票を求めることがある。</p> <p>※ ※家計支持者が失業中の場合は「生活状況申立書（様式7）」も併せて提出すること。</p>	<p>• ハローワーク</p>

区 分	証明書・関係書類等	発行場所等
<ul style="list-style-type: none"> ・家計支持者が無職・無収入な世帯 ・世帯全体の総所得額が200万円以下の世帯 ・家計支持者が失業中の世帯 	<p>「生活状況申立書（様式7）」</p> <p>※ 家計支持者が、無職又は無収入の場合は「無職・無収入申立書（様式5）」も併せて提出すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家計支持者の申し立て
<ul style="list-style-type: none"> ・家計支持者が単身赴任等のため別居中の世帯 <p>※住居費・水道光熱費のみ対象。 ※領収書等がないものは認定されません。</p>	<p>① 「家計支持者別居（単身赴任等）に係る経費控除金額内訳書（様式6-1）」、「家計支持者別居（単身赴任等）に係る領収書等貼付用紙</p> <p>② 「家計支持者別居（単身赴任等）に係る領収書等貼付用紙（様式6-2）」（領収書、預金通帳等を貼付）</p> <p>③ 家計支持者の現住所が確認できる書類</p> <p>※ ③は、住居費・水道光熱費の領収書に現住所が記載されている場合は不要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家計支持者の申し立て
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金等を受けている場合で、確定申告書に記載されていない場合 	<p>「補助金等に関する通知書」（補助金等の金額がわかる書類）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国 ・都道府県 ・市区町村
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯 ・生活保護世帯 	<p>○ひとり親世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世帯全員分の住民票〈原本〉」（世帯全員分の住民票の提出が困難な場合には戸籍謄本〈原本〉でもよい。） ・願い出時において児童扶養手当の給付を受けている場合は「児童扶養手当通知書」 <p>○生活保護世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保護決定通知書」（受給額が確認できる書類） <p>※ 母子父子世帯、生活保護世帯のいずれにも該当する場合には上記の該当するすべての書類が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村 ・社会福祉事務所等 ・都道府県
<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者、知的障害者、精神障害者及びその他心身に障害を持つ者 	<p>障害者手帳の氏名、障害の内容・等級等が確認できるページのコピー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村等
<ul style="list-style-type: none"> ・長期療養者 <p>願い出時において6か月以上の期間療養中又は療養が必要と認められる者</p> <p>※領収書等がないものは認定されません。</p>	<p>「長期療養に係る医療費控除金額内訳書（様式4-1）」、「医師の診断書」、「長期療養に係る領収書等貼付用紙（様式4-2）」（医療費の領収書、健康保険による医療給付（還付）の支払明細書等を貼付）</p> <p>※ 保険外診療の特別室料・文書料・食事代等については対象外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師（病院） ・薬局 ・市区町村等
<ul style="list-style-type: none"> ・風水害等の災害 <p>願い出時点から遡って1年以内に、火災・風水害・盗難等の被害を受けた者</p>	<p>「被災（罹災）証明書」、被災金額を証明できる書類、保険金・損害賠償等で補填された金額の証明書</p> <p>※ 被災金額を証明できる書類がない場合は「被災（罹災）証明書」のみ提出すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村 ・消防署 ・警察署 ・勤務していた会社 ・保険会社等

区 分	証明書・関係書類等	発行場所等
<p>・独立生計者（大学院学生のみ）</p> <p>本人の所得証明書が発行され、所得税法上父母等の扶養親族ではなく、生活に必要な収入があり別居独立生計をしていることが確認できる者（既婚者・親と絶縁・元社会人・父母の経済状態が悪く独立生計として申請せざるを得ない者のほか特別の事情がある者）</p> <p>※家業の従業員（専従者）となっている場合は、原則として認めません。</p>	<p>○願い出る者（本人）に関する書類</p> <p>所得（課税）証明書（所得がない場合は、非課税証明書）＜原本＞、令和4年（2022年）分の確定申告書又は源泉徴収票等収入が確認できる書類、「国民健康保険等の保険証の写し」、「世帯全員分の住民票＜原本＞」、「生活状況申立書（様式7）」</p> <p>※ 国民健康保険への切り替えを申請中の者は、切り替え申請中であることが確認できる書類を提出すること。</p> <p>※ 住民票の転出・転入手続きをしておらず、住民票上では父母等と同一世帯になっている者については、「世帯全員分の住民票」に加えて、「願い出る者の現住所が確認できる種類」（公共料金等の領収書のコピー等）を提出すること。</p> <p>○父母に関する書類</p> <p>令和4年（2022年）分の源泉徴収票又は令和4年（2022年）分の確定申告書等父母の収入及び扶養親族が確認できる書類</p> <p>※ 独立生計者として申請する詳細な理由を「入寮希望理由等」欄に必ず記入すること。</p> <p>※ <u>上記書類の提出がない場合は独立生計者と認定されない</u>ので注意すること。</p>	<p>・市区町村</p> <p>・税務署</p>
<p>・日本学術振興会特別研究員</p>	<p>令和4年（2022年）度採用者で源泉徴収票がまだ発行されていない場合には、「採用通知」又は「採用見込証明書」を提出すること。</p> <p>※ 上記書類の提出が困難な場合には日本学術振興会の電子申請システムの審査結果詳細画面を印刷し、氏名、学生番号を記入のうえ、提出すること。</p>	<p>・日本学術振興会等</p>
<p>・給付型奨学金受給予定者</p>	<p>令和5年（2023年）度に本人が給付型奨学金の受給を予定している場合は、「令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知」（日本学生支援機構の場合）等の写しを提出すること。</p>	<p>・日本学生支援機構等</p>
<p>・最短修業年限超過者</p> <p>本人の責任によらない事情により最短修業年限を超過した者で、最短修業年限超過期間が1年を超えない者。</p> <p>① 病気の場合</p> <p>② 留学した場合</p> <p>③ その他</p>	<p>「最短修業年限超過の理由書（様式8）」</p> <p>※ ①の場合は、「医師の診断書」を添付</p> <p>※ ②の場合は、留学の事実を証明する書類（留学先の在籍証明書等）</p> <p>※ ③の場合は、事前に学生支援課生活支援担当（高等教育推進機構 1階 ①C「学生寮」担当）窓口で相談のうえ、必要書類について指示を受けること（指導教員の所見等、本人の責任によらないという事実を証明する書類が必要となる。）</p>	<p>・医師（病院）</p> <p>・留学先大学等</p>

コード番号一覧

前期志願学部等コード	前期志願学部等名
002	総合教育部(在学)
005	文学部(在学/編入学)
007	教育学部(在学/編入学)
015	法学部(在学/編入学)
017	経済学部(在学/編入学)
022	理学部(在学/編入学)
025	工学部(在学/編入学)
034	農学部(在学/編入学)
036	獣医学部(在学/編入学)
038	水産学部(在学/編入学)
042	医学部(在学/編入学)
043	歯学部(在学/編入学)
044	薬学部(在学/編入学)
100	志願しない/該当しない
101	文学部(前期)
105	教育学部(前期)
110	法学部(前期)
115	経済学部(前期)
130	医学部-医学科(前期)
131	医学部-保健学科-看護学専攻(前期)
132	医学部-保健学科-放射線技術科学専攻(前期)
133	医学部-保健学科-検査技術科学専攻(前期)
134	医学部-保健学科-理学療法科学専攻(前期)
135	医学部-保健学科-作業療法科学専攻(前期)
140	歯学部(前期)
170	獣医学部(前期)
175	水産学部(前期)
180	総合入試-文系(前期)
191	総合入試-理系-数学重点選抜群(前期)
192	総合入試-理系-物理重点選抜群(前期)
193	総合入試-理系-化学重点選抜群(前期)
194	総合入試-理系-生物重点選抜群(前期)
195	総合入試-理系-総合科学選抜群(前期)
621	理学部-数学科(フロンティア)
622	理学部-物理学科(フロンティア)
623	理学部-化学科(フロンティア)
625	理学部-生物科学科-高分子機能学専攻(フロンティア)
626	理学部-地球惑星科学科(フロンティア)
630	医学部-医学科(フロンティア)
631	医学部-保健学科-看護学専攻(フロンティア)
632	医学部-保健学科-放射線技術科学専攻(フロンティア)
633	医学部-保健学科-検査技術科学専攻(フロンティア)
634	医学部-保健学科-理学療法科学専攻(フロンティア)
635	医学部-保健学科-作業療法科学専攻(フロンティア)
640	歯学部(フロンティア)
651	工学部-応用理工系学科-応用物理工学コース(フロンティア)
652	工学部-応用理工系学科-応用マテリアル工学コース(フロンティア)
653	工学部-機械知能工学科(フロンティア)
654	工学部-環境社会工学科-社会基盤学コース(フロンティア)
655	工学部-環境社会工学科-環境工学コース(フロンティア)
675	水産学部(フロンティア)
701	文学部(帰国子女)
705	教育学部(帰国子女)
710	法学部(帰国子女)
715	経済学部(帰国子女)
721	理学部-数学科(帰国子女)
722	理学部-物理学科(帰国子女)
723	理学部-化学科(帰国子女)
724	理学部-生物科学科-生物学専攻(帰国子女)
725	理学部-生物科学科-高分子機能学専攻(帰国子女)
726	理学部-地球惑星科学科(帰国子女)
730	医学部-医学科(帰国子女)
731	医学部-保健学科-看護学専攻(帰国子女)
732	医学部-保健学科-放射線技術科学専攻(帰国子女)
733	医学部-保健学科-検査技術科学専攻(帰国子女)
734	医学部-保健学科-理学療法科学専攻(帰国子女)
735	医学部-保健学科-作業療法科学専攻(帰国子女)
740	歯学部(帰国子女)
745	薬学部(帰国子女)
751	工学部-応用理工系学科(帰国子女)
752	工学部-情報エレクトロニクス学科(帰国子女)
753	工学部-機械知能工学科(帰国子女)
754	工学部-環境社会工学科(帰国子女)
760	農学部(帰国子女)
770	獣医学部(帰国子女)
775	水産学部(帰国子女)
805	国際総合入試

後期志願学部等コード	後期志願学部等名
200	志願しない/該当しない
201	文学部(後期)
205	教育学部(後期)
210	法学部(後期)
215	経済学部(後期)
221	理学部-数学科(後期)
222	理学部-物理学科(後期)
223	理学部-化学科(後期)
224	理学部-生物科学科-生物学専攻(後期)
225	理学部-生物科学科-高分子機能学専攻(後期)
226	理学部-地球惑星科学科(後期)
232	医学部-保健学科-放射線技術科学専攻(後期)
233	医学部-保健学科-検査技術科学専攻(後期)
234	医学部-保健学科-理学療法科学専攻(後期)
240	歯学部(後期)
245	薬学部(後期)
251	工学部-応用理工系学科(後期)
252	工学部-情報エレクトロニクス学科(後期)
253	工学部-機械知能工学科(後期)
254	工学部-環境社会工学科(後期)
260	農学部(後期)
270	獣医学部(後期)
275	水産学部(後期)
306	大学院文学院(修士課程)
308	大学院教育学院(修士課程)
315	大学院法学研究科(修士課程)
318	大学院経済学院(修士課程)
320	大学院理学院(修士課程)
326	大学院工学院(修士課程)
328	大学院総合化学院(修士課程)
332	大学院農学院(修士課程)
343	大学院医学院(修士課程)
347	大学院生命科学学院(修士課程)
350	大学院保健科学院(修士課程)
376	大学院環境科学院(修士課程)
380	大学院情報科学院(修士課程)
388	大学院国際広報メディア・観光学院(修士課程)
391	大学院水産科学院(修士課程)
415	大学院法学研究科(法科大学院の課程)
418	大学院経済学院(専門職学位課程)
485	大学院公共政策学教育部(専門職学位課程)
505	大学院文学研究科(博士後期課程)
506	大学院文学院(博士後期課程)
508	大学院教育学院(博士後期課程)
515	大学院法学研究科(博士後期課程)
518	大学院経済学院(博士後期課程)
520	大学院理学院(博士後期課程)
526	大学院工学院(博士後期課程)
528	大学院総合化学院(博士後期課程)
532	大学院農学院(博士後期課程)
537	大学院獣医学院(博士課程)
541	大学院医学院(博士課程)
544	大学院歯学院(博士課程)
547	大学院生命科学学院(博士後期課程)
550	大学院保健科学院(博士後期課程)
576	大学院環境科学院(博士後期課程)
579	大学院情報科学研究科(博士後期課程)
580	大学院情報科学院(博士後期課程)
588	大学院国際広報メディア・観光学院(博士後期課程)
591	大学院水産科学院(博士後期課程)
592	大学院医理工学院(修士課程)
593	大学院医理工学院(博士後期課程)
594	大学院国際感染症学院(博士課程)
595	大学院国際食資源学院(修士課程)
596	大学院国際食資源学院(博士後期課程)

男子用

【本票も必ず提出すること】

※受付番号

提出書類確認票

◆全ての項目を記入してください。

氏名		連絡先 (携帯電話)	本人	
			保証人	

※後日、記入内容等について確認を行うことがあるので、必ず連絡の取れる番号を記入してください。

◆提出書類

区分	書類名	○を付ける	提出する書類に該当する全ての方を○で囲んでください	備考
必ず提出する書類	提出書類確認票（本票）			
	基本事項記入シート			
	北海道大学学生寮入寮願・希望調書（別紙様式1号）			
	令和4年(2022年)分源泉徴収票の写し【給与所得者】 ※様式1「源泉徴収票(写)貼付用紙」に貼付		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	該当するいずれかの書類を提出
	令和4年(2022年)分確定申告書の写し【事業所得者】 ※「第一表」・「第二表」とも提出すること。		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	宛名票			
	封入書類最終チェック票			
「入寮選考結果通知」送付用封筒貼り付け紙 (角形2号用)			400円分の切手を貼付すること	
家庭状況等により提出する書類	年収見込申立書（様式2-1）・年収見込証明書 (様式2-2)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	様式2-2は勤務先の証明が必要
	年金・恩給所得内訳書（様式3）		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	年金の源泉徴収票等を添付
	長期療養に係る医療費控除金額内訳書 (様式4-1、様式4-2)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	医師の診断書、領収書等を添付
	無職・無収入申立書（様式5）		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	家計支持者別居(単身赴任等)に係る経費控除金額内訳書（様式6-1、様式6-2）		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	領収書等を添付
	生活状況申立書（様式7）		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	最短修業年限超過の理由書（様式8）			医師の診断書、留学先の在籍証明書等を添付
	世帯全員分の住民票（場合により戸籍謄本）【原本】		世帯全員分の住民票又は戸籍謄本	母子(父子)世帯・独立生計者は必ず提出
	生活保護決定通知		生活保護決定通知（受給額が確認できる書類）	直近の通知を提出
	障害者手帳		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	被災(り災)証明書及び災害額が確認できる書類		被災(り災)証明書・災害額の確認書類(※)	※領収書、保険金証明書等
	国民健康保険等の「保険証」			
	所得(課税)証明書(もしくは非課税証明書)【原本】			独立生計者のみ提出
「令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知」 (日本学生支援機構の場合)等の写し			給付型奨学金受給予定者のみ提出	
その他添付書類（ ）				

※ 提出する書類の該当欄に○を付けてください。また、提出する書類に該当する全ての家族を○で囲んでください。

※ 提出書類のうち、本学所定の様式以外については、「住民票（場合により戸籍謄本）」及び「所得（課税）証明書」を除き、写し（コピー）で構いません。

※ 提出書類のうち、用紙サイズの小さいものはA4用紙に貼付してください。

◆大学記入欄

--

女子用

【本票も必ず提出すること】

※受付番号

提出書類確認票

◆全ての項目を記入してください。

氏名	連絡先 (携帯電話)	本人	
		保証人	

※後日、記入内容等について確認を行うことがあるので、必ず連絡の取れる番号を記入してください。

◆提出書類

区分	書類名	○を付ける	提出する書類に該当する全ての方を○で囲んでください	備考
必ず提出する書類	提出書類確認票(本票)			
	基本事項記入シート			
	北海道大学学生寮入寮願・希望調書(別紙様式1号)			
	令和4年(2022年)分源泉徴収票の写し【給与所得者】 ※様式1「源泉徴収票(写)貼付用紙」に貼付		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	該当するいずれかの書類を提出
	令和4年(2022年)分確定申告書の写し【事業所得者】 ※「第一表」・「第二表」とも提出すること。		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	宛名票			
	封入書類最終チェック票			
「入寮選考結果通知」送付用封筒貼り付け紙(角形2号用)			400円分の切手を貼付すること	
家庭状況等により提出する書類	年収見込申立書(様式2-1)・年収見込証明書(様式2-2)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	様式2-2は勤務先の証明が必要
	年金・恩給所得内訳書(様式3)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	年金の源泉徴収票等を添付
	長期療養に係る医療費控除金額内訳書(様式4-1、様式4-2)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	医師の診断書、領収書等を添付
	無職・無収入申立書(様式5)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	家計支持者別居(単身赴任等)に係る経費控除金額内訳書(様式6-1、様式6-2)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	領収書等を添付
	生活状況申立書(様式7)		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	最短修業年限超過の理由書(様式8)			医師の診断書、留学先の在籍証明書等を添付
	世帯全員分の住民票(場合により戸籍謄本)【原本】		世帯全員分の住民票又は戸籍謄本	母子(父子)世帯・独立生計者は必ず提出
	生活保護決定通知		生活保護決定通知(受給額が確認できる書類)	直近の通知を提出
	障害者手帳		父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・本人・配偶者	
	被災(り災)証明書及び災害額が確認できる書類		被災(り災)証明書・災害額の確認書類(※)	※領収書、保険金証明書等
	国民健康保険等の「保険証」			
	所得(課税)証明書(もしくは非課税証明書)【原本】			独立生計者のみ提出
	「令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知」(日本学生支援機構の場合)等の写し			給付型奨学金受給予定者のみ提出
その他添付書類()				

※提出する書類の該当欄に○を付けてください。また、提出する書類に該当する全ての家族を○で囲んでください。

※提出書類のうち、本学所定の様式以外については、「住民票(場合により戸籍謄本)」及び「所得(課税)証明書」を除き、写し(コピー)で構いません。

※提出書類のうち、用紙サイズの小さいものはA4用紙に貼付してください。

◆大学記入欄

--

基本事項記入シート

事 項	区分名	コード番号	記入上の注意事項
受 付 年 月 日			大学記入欄(記入しないこと)
受 付 番 号			大学記入欄(記入しないこと)
① 学 生 区 分	1 学部男子 2 学部女子	3 大学院男子 4 大学院女子	該当する番号に○を付けること。
② 入 試 区 分	1 学部在学者 2 フロント入試・ 帰国子女入試・編入学 3 学部前期日程のみ	4 学部前期日程と後期日程に併願 5 学部後期日程のみ 6 大学院 (志願者・入試合格者・在学者)	該当する番号に○を付けること。
③ 前 期 志 願 学 部 (学部志願者、フロンティア入試・帰国子女入試・編入学合格者) 所属学部 (学部在学者)			P.13の「コード番号一覧」を参照し、「前期志願学 部等名」と「前期志願学部等コード」を記入すること。志願しない場合も、「志願しない/該当しない」を選択し、必ず記入すること。
④ 前 期 受 験 番 号 (学部志願者、フロンティア入試・帰国子女入試・編入学合格者) 学 生 番 号 (学部在学者)			志願者のうち、願い出時点で受験番号が届いていない場合は、「未定」と記入すること。
⑤ 後 期 志 願 学 部 (学部志願者) 所属(志願)学院(研究科)等 (大学院志願者、大学院在学者)			P.13の「コード番号一覧」を参照し、「後期志願学 部等名」と「後期志願学部等コード」を記入すること。志願しない場合も、「志願しない/該当しない」を選択し、必ず記入すること。
⑥ 後 期 受 験 番 号 (学部志願者) 大学院受験番号(大学院志願者)学 生 番 号 (大学院在学者)			志願者のうち、願い出時点で受験番号が届いていない場合は、「未定」と記入すること。
⑦ 受 験 区 分	1 一般 2 編入学 3 学部在学	4 帰国子女入試 5 フロント入試 6 大学院	該当する番号に○を付けること。
⑧ 入 寮 希 望 区 分	1 恵迪寮のみ希望 2 霜星寮のみ希望 3 北23条のみ希望	4 霜星寮第1希望・恵迪寮第2希望 5 恵迪寮第1希望・霜星寮第2希望 6 霜星寮第1希望・北23条第2希望 7 北23条第1希望・霜星寮第2希望	該当する番号に○を付けること。 学部男子・大学院男子:「1」を選ぶこと。 学部女子:「1、2、4、5」から1つ選ぶこと。 大学院女子:「2、3、6、7」から1つ選ぶこと。
⑨ 願 出 者 氏 名 (フリガナ)			
⑩ 願 出 者 氏 名 (漢 字)			
⑪ 生 年 月 日			西暦で記入すること。
⑫ 郵 便 番 号			
⑬ 住 所			入寮選考結果の送付先を記入すること。
⑭ 電 話 番 号			願出者(本人)と連絡可能な番号(携帯電話等)を記入すること。 ※ハイフンは不要

・本願出に添付される「家庭状況等により提出する書類」について

学生寮への入寮選考を行うため、本学入学試験合格発表前に関係書類を提出いただいておりますが、入寮資格を満たすことが出来なかった場合、本願出に添付いただきました、提出書類確認票にありますが「家庭状況等により提出する書類」については、本学におきまして焼却処分することとしております。

つきましては、本学に処分を依頼することの同意の有無について、次のどちらかに必ずチェック(☑)を入れてください。

「家庭状況等により提出する書類」の処分を 大学に依頼します。 返却を希望します。

・恵迪寮入寮希望者(学部学生で第1希望、第2希望問わず)の方へ

恵迪寮には、学部学生で構成された自治会があり、その自治会から恵迪寮入寮許可者に対し、入寮日時等の事前連絡や独自の寮生活関係資料を送付するため、上記の個人情報のうち、①学生区分、⑨願出者氏名(フリガナ)、⑩願出者氏名(漢字)、⑫郵便番号、⑬住所、⑭電話番号の提供を求められています。

つきましては、当該個人情報を恵迪寮自治会に提供することへの同意の有無について、次のどちらかにチェック(☑)を入れてください。

恵迪寮自治会に情報提供することに 同意します。 同意しません。

※同意いただけない場合は、自治会に対して、一切情報は提供いたしません。

※同意の有無が入寮選考の結果に影響することはありません。

※太枠内のすべての事項を漏れなく正確に記入すること。

北海道大学学生寮入寮願・希望調書

入寮を願ひ出る者 (本人)	フリガナ				男・女
	氏名 (自署)				
保 証 人	フリガナ			電話番号	
	氏名 (自署)				
	住 所	〒			

希望区分	1. 恵迪寮のみ希望【学部男女、大学院男子】 2. 霜星寮のみ希望【学部女子、大学院女子】 3. 北23条のみ希望【大学院女子】 4. 霜星寮第1希望で恵迪寮第2希望【学部女子】	5. 恵迪寮第1希望で霜星寮第2希望【学部女子】 6. 霜星寮第1希望で北23条第2希望【大学院女子】 7. 北23条第1希望で霜星寮第2希望【大学院女子】 8. 北農寮【函館キャンパス】
------	--	---

入寮を願ひ出る者(本人)	通学区分	※ 自宅・自宅外	生 年 月 日	※ 昭和・平成	年	月	日	学生番号			
								受験番号 (志願者のみ)			
	所 属	学部／学院 (研究科)			学科／専攻・課程		学 年	年			
	現住所	【※ 自宅・下宿・間借・親類宅・その他()】						電 話 番 号			
	帰省先住所	(現住所と同じ場合は「同上」と記入)									
	独立生計 (大学院学生のみ記入)	<input type="checkbox"/> 独立生計者として申請する。(親の扶養から外れ、国民健康保険を自分で支払い別居独立していること。該当者は☑を付けること)									
最短修業年限超過者	<input type="checkbox"/> 最短修業年限を超過している。(該当者は☑を付け、様式8及び必要書類を併せて提出すること)										

入寮希望理由等

	事 項	就 学 者 を 除 く 家 族					
		願 出 者 と の 続 柄	本 人	父	母	() () ()	() () ()
	氏 名	—					
	年 齢	—					
	職 業						
同一生計の家族(就学者を除く)及び所得	給与・役員報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	年 金 ・ 恩 給	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	失 業 手 当 ・ 雇 用 保 険	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	児 童 手 当 ・ 児 童 扶 養 手 当 ・ 生 活 保 護 費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	ア ル バ イ ト	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	給与所得の収入金額(税込) 合計 (A)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
給与所得の合計 (B) ※ 大学記入欄(記入しないこと)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
給与以外の所得金額	事 業 所 得 (必要経費控除後の金額)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	利 子 ・ 配 当 ・ 家 賃 ・ 地 代 (必要経費控除後の金額)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(同一生計世帯以外からの) 援 助 ・ 養 育 費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
給与以外の所得の合計 (C) ※ 大学記入欄(記入しないこと)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
所得の総合計 (B+C) ※ 大学記入欄(記入しないこと)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	



就学者 (本人を除く)	氏名	続柄	年齢	在学学校名	学校区分	学年	通学区分
				※国・公・私立	※小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学・特別支援		※自宅・自宅外
				※国・公・私立	※小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学・特別支援		※自宅・自宅外
				※国・公・私立	※小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学・特別支援		※自宅・自宅外

家族数	人 (本人を含む、同一生計の家族数)
-----	--------------------

奨学金	月額	年額(月額×12ヶ月)	奨学団体名
	給与の奨学金 千円	千円	
給与の奨学金 千円	千円		

特別 控 除	○を 付ける	項目	人数・金額・その他記載事項(※)	添付する証明書類等	
		ひとり親世帯	年 月から理由()	世帯全員の住民票(場合により戸籍謄本)	
		障害者がいる世帯(本人を含む)	障害者数	人	障害者手帳(写)
			医療費	千円	様式4-1及び領収書等(様式4-2に貼付)
		生活保護世帯	—	生活保護決定通知	
		被爆者がいる世帯	—		
		長期療養者(6か月以上)がいる世帯	医療費	千円	様式4-1及び医師の診断書・領収書等(領収書は様式4-2に貼付)
		家計支持者別居世帯	かかる経費	千円	様式6-1及び住居光熱水費にかかる領収書(様式6-2に貼付)
	1年以内に被災した世帯	被害額	千円	被災(罹災)証明書、修繕の見積書及び保険金で支払を受けた証明書	

(障害者)	氏名	種類(○で囲む)	手帳番号	期間
	長期療養	長期療養 - 身体障害 - 知的障害 - 精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害 - 原爆被爆(※障害の有・無)		年 月から
		長期療養 - 身体障害 - 知的障害 - 精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害 - 原爆被爆(※障害の有・無)		年 月から

年 月 日

北海道大学学生寮(恵迪寮 / 霜星寮 / 北23条 / 北農寮)(該当するものに○)に入寮したいので、保証人連署のうえ、関係書類を添えて願ひ出ます。なお、記載事項に虚偽・相違はありません。

大学記入欄	特別控除	金額	a. 所得金額 (左頁D欄の合計)	千円
	①ひとり親世帯	千円	b. 奨学金 (上頁「奨学金」欄の合計)	千円
②就学者	(小) (大)	千円	c. 特別控除額 (左欄「特別控除額合計」と同じ)	千円
	(中) (高専)		d. 控除後の金額(a+b-c)	千円
	(高) (専修)		家族数	人
※記入しないこと	③障害者・長期療養者	千円	i 家計点	点
	④主たる家計支持者別居	千円	ii 家族状況加算点	点
	⑤災害()	千円	iii 地理的状況加算点	点
	⑥主たる家計支持者以外の者の所得	千円	総合点 (i ~ iiiの合計)	点
	⑦自宅・自宅外 (「本人の通学区分」欄参照)	千円	独立生計	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない
	特別控除額合計 (①~⑦の合計)	千円	最短修業年限超過者	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない

源泉徴収票（写）貼付用紙

願出者氏名 _____

(源泉徴収票を貼付)

※ 注意事項

- 源泉徴収票は、本様式に貼り付けてください。
- 源泉徴収票が複数ある場合は、本様式を複写し、使用してください。

年 収 見 込 申 立 書

願出者氏名 _____

年 月 日

申立者氏名 _____ 願出者との続柄 (_____)

1. 給与所得者

(勤務先の発行する年収見込証明書(様式2-2)または給与等(月収・賞与)の額が記載された求人票もしくは直近3か月～1年分の給与明細等を添付すること)

① 就職・転職年月日 _____年_____月_____日

② 推定年収(税込) _____円

内訳

月 収(税込) _____円×12か月

年間賞与(税込) _____円

2. 雇用保険受給者(雇用保険受給資格者証の写しを添付すること)

① 離職年月日 _____年_____月_____日

② 推定年収 _____円

内訳

日 額 _____円×給付日数_____日

3. その他の所得者

① 職業・職種 _____

② 開業・転業年月日 _____年_____月_____日

③ 推定年収(税込) _____円

内訳 収入金額 _____円 - 必要経費 _____円

年 収 見 込 証 明 書

願出者氏名 _____

1. 該当者記入欄 (必ず記入すること)

該 当 者 氏 名		願出者との続柄	
-----------	--	---------	--

2. 勤務先証明欄 (下記事項について証明願います)

就職 (転職) 年月日	年 月 日
職 種	正社員・パート・アルバイト・その他 ()
ボーナスの有無	有 ・ 無
現 在 の 月 収	円 (各諸手当を含み、月により変動がある場合は平均月収を記入してください)
年間収入見込金額	円 (12か月分の月収及び賞与を含む金額)

上記のとおり証明いたします。

年 月 日

【証明者】 住 所 _____

会社等名 _____ 印

年金・恩給所得内訳書

願出者氏名_____

年金受給者	氏名		願出者との続柄	
	現住所			
年金支払団体名			年金額 (年間)	円

年金受給者	氏名		願出者との続柄	
	現住所			
年金支払団体名			年金額 (年間)	円

年金受給者	氏名		願出者との続柄	
	現住所			
年金支払団体名			年金額 (年間)	円

※ 注意事項

- 年金・恩給を受給されている方全員について記入してください。
- 非課税の年金（障害年金、遺族年金等）についても対象となります。
- 前年の支払金額が確認できる書類（公的年金の源泉徴収票、支払窓口（日本年金機構等）発行のハガキ、年金の決定通知）も併せて提出してください。
- 証明書に年額が記入されていない年金振込通知等の場合は、その振込受給金額が何か月分かを確認し、月数を乗じた金額（年間金額）を記入してください。
- 一人で複数の年金を受給されている場合は、「年金支払団体名」及び「年金額」を2段書きにしてください。

長期療養に係る医療費控除金額内訳書

願出者氏名 _____

1. 長期療養者氏名 _____ 願出者との続柄 (_____)

2. 医療費等の月別内訳

年／月	支出額（医療費）	健康保険等の医療 給付（還付）額	差引金額	備考
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
／	円	円	円	
合計	円	円	円	

※ 注意事項

- 本様式を提出する際は、医師の診断書を必ず添付してください。診断書がない場合は医療費控除の対象とはなりませんのでご注意ください。
- 控除対象者は、入寮願い出時において6か月以上の期間療養中又は療養が必要と認められる者です。6か月未満の場合は対象外となります。また、願い出時に既に療養を終えた者は対象なりません。
- 高額療養費制度により医療費が給付（還付）された場合は、健康保険等の医療給付（還付）欄に給付（還付）金額を記入してください。
- 本様式に記入した金額の根拠が証明できるもの（例：医療費の領収書、医療給付の支払明細書等）を、必ず様式4-2に月別に貼り付けて提出してください。
- 金額は願い出時までの支出額・給付額を記入してください（6か月～1年分）。

長期療養に係る領収書等貼付用紙

願出者氏名 _____

長期療養者氏名 _____ 願出者との続柄 (_____)

(_____ 年 _____ 月分) ※領収書等の該当月を記入

(領収書等を貼付)

※ 注意事項

- 領収書は、本様式に月別に貼り付けてください。
- 領収書が複数月にわたる場合は、本様式を複写し、使用してください。

無職・無収入申立書

願出者氏名 _____

年 月 日

現在、私は無職又は無収入であることを申し立てます。

(申立人)

住 所 _____

氏 名 _____

願出者との続柄 _____

前 職 業 (_____)

退職 (離職) 年月日 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

退職 (離職) 事 由 a. 定年退職 b. 自己都合 c. その他 (_____)

※該当する事由に○を付けてください。

※ 注意事項

- 就学者を除く18歳以上の者が無職又は無収入の場合に提出してください。
- 無職であっても、年金等により一定の所得がある場合は提出の必要はありません。
- 家計支持者の扶養に入っていない場合は、専業主婦についても提出する必要があります。

家計支持者別居（単身赴任等）に係る経費控除金額内訳書

願出者氏名_____

1. 家計支持者氏名_____願出者との続柄（_____）

2. 単身赴任先等住所_____

3. 別居（単身赴任等）開始年月_____年_____月_____

4. 経費控除金額の算定内訳

年／月	住居費	水道料	電気料	ガス料	灯油代	計
／1						
／2						
／3						
／4						
／5						
／6						
／7						
／8						
／9						
／10						
／11						
／12						
合計						

※ 注意事項

- 本様式に記入した金額の根拠が証明できるもの（領収書等）を様式6-2に必ず月別に貼り付けて提出してください（領収書等のない金額については認定できません）。
- 入寮願出時から遡って1年以内の支出金額を記入してください（別居期間が1年に満たない場合は、別居開始時から願出時までの状況を記入してください）。
- 領収書等に家計支持者の単身赴任先等の住所の記載がない場合は、郵便物の宛名や住居の契約書の写し等家計支持者の現住所が記載された書類を添付してください。

家計支持者別居（単身赴任等）に係る領収書等貼付用紙

願出者氏名_____

家計支持者氏名_____

(領収書等を貼付)

※ 注意事項

- 領収書は、本様式に月別に貼り付けてください。
- 領収書が複数月にわたる場合は、本様式を複写し、使用してください。

生活状況申立書

願出者氏名 _____

年 月 日

(申立人)

家計支持者氏名 _____ 願出者との続柄 (_____)

私(家計支持者)は、下記のとおり生活を行う予定であることを申し立てます。

記

1 か月当たりの生活状況(同一生計世帯全体の状況を記入)

収入予定金額		支出予定金額	
給与等の収入	円	食費	円
事業収入	円	住居費	円
失業手当・雇用保険	円	光熱水料	円
児童手当等	円	衣料費	円
生活保護費	円	教養・娯楽費	円
年金等	円	通信・運搬費	円
アルバイト	円	医療費	円
知人・親戚()	円	就学費	円
からの援助(※1)	円	交通費	円
奨学金(※2)	円	保険料等	円
預金等引出し	円	税金等	円
その他()	円	預貯金	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

※1. 括弧内に、援助者について願出者との続柄(叔父、叔母等)を記入する。

※2. 貸与及び給付の全ての奨学金を記入する。

※ 注意事項

- ① 次のいずれかに該当する場合は必ず提出してください。
 - 家計支持者が失業中・無職の場合
 - 願出者が独立生計者の場合
 - 世帯全体の総所得額が200万円未満の場合
- ② 収入予定金額と支出予定金額は同額となるように記入してください。
- ③ 本様式は同一生計世帯全体の状況を記入するものであり、願出者本人のアルバイト等の収入及び奨学金を含みます。
- ④ 同一生計内での金銭の授受(仕送り等)が収入予定金額に重複して計上されないように注意してください。

最短修業年限超過の理由書

所属 _____ (学部／研究科／学院／教育部)

学年 (学部／修士／専門職／博士) _____ 年次(_____ 年度入学)

学生番号 _____ 氏名 _____ (男・女)

1. 最短修業年限超過の理由 (該当する事由に☑し、必要事項を記入すること)

- 病 気 (医師の診断書等、病名と期間がわかる書類を添付すること)

病 名 _____

期 間 年 月 日 ~ 年 月 日

- 留 学 (留学先の在籍証明等、留学先と期間がわかる書類を添付すること)

留学先 (国名・大学等名) _____

期 間 年 月 日 ~ 年 月 日

- 本学の留学プログラム 本学の留学プログラム以外

- その他 _____

(事前に、学生支援課生活支援担当 (高等教育推進機構 1階①C「学生寮」担当窓口で相談のうえ、指導教員の所見等、事実がわかる書類を添付すること)

2. 最短修業年限を超過した事情 (詳細に記入すること)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※休学期間がある場合は、以下に記入してください。

休学期間： 年 月 日 ~ 年 月 日

願出者氏名

宛 名 票

郵便番号、宛先、宛名を記入すること。（「様」を削除しないこと。）
※欄には何も記入しないこと。

(郵便番号)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
(宛 先)	都 道 府 県 市 区 町 村
(宛 名)	※ <input type="text"/> 様

(郵便番号)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
(宛 先)	都 道 府 県 市 区 町 村
(宛 名)	※ <input type="text"/> 様

封入書類最終チェック票

※下記提出書類が封筒に入っているかどうかを確認の上、
この用紙を同封してください。

内容確認欄

提出書類	チェック欄
(1) 提出書類確認票（男子用と女子用で別様式）	
(2) 基本事項記入シート	
(3) 北海道大学学生寮入寮願・希望調書（別紙様式1号）	
(4) 同一生計の家族の収入に関する証明書 ・ 給与所得者は源泉徴収の写し ・ 給与所得者以外は確定申告書等の写し	
(5) 家族状況等により、関係する必要書類	
(6) 宛名票	
(7) 「入寮選考結果通知」送付用封筒 ● 準備した角2封筒に封筒貼り付け紙と400円切手を貼り付けたもの ● 送付先住所と宛名を記入すること	

入寮選考結果送付用封筒（角2）貼付紙

※「速達」と「入寮選考結果通知在中」の文字が赤字で表記されるように印刷してください

※「様」を削除しないでください。

※入寮願出者は準備した角型2号封筒に、表面に封筒貼り付け紙と400円分の切手を貼付してください。

.....切り取り線.....

速 達

切 手
(400円分)



入寮選考結果在中

様

職員記入

〒060-0817

北海道札幌市北区北十七条西八丁目

北海道大学学務部学生支援課生活支援担当

電話：011-706-7532

封筒貼り付け紙

切手

入寮願出関係書類在中

0 6 0 - 0 8 1 7

札幌市北区北十七条西八丁目

北海道大学学務部学生支援課

生活支援担当

御中

入寮を願い出る者	
氏名	住所
	□□□-□□□□

角形2号封筒用

以下の①課程、②性別、③区分のそれぞれについて、あてはまるものいずれかひとつの□に印を入れてください。

①課程	②性別	③区分	
<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子	<input type="checkbox"/> 学部に在学中 フロンティア入試に合格 <input type="checkbox"/> 帰国子女入試に合格 学部に編入学予定	<input type="checkbox"/> 前期日程のみ出願 <input type="checkbox"/> 前期日程と後期日程 の両方に出願 <input type="checkbox"/> 後期日程のみ出願 大学院に出願 <input type="checkbox"/> 大学院入試に合格 大学院に在学中

※ 在学者以外の者は、原則として郵送で提出してください。

※ 在学者で担当窓口へ直接提出する場合でも、必ずこの封筒の必要事項を記入し、提出書類をすべて入れて持参してください。（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本学構内に立ち入ることが出来ない場合があります。）